

HT(BT-600)を TALOS-NEX で利用するにあたって

弊社 POS システム TALOS-NEX(以下、NEX)をご利用頂き、誠にありがとうございます。

本セットアップはキーエンス社製の超小型ハンディターミナル、BT600/BT500 を、NEX で使用するためのプログラムです。

使用する機種毎に、通信用クレードルのインストールが必要になります。

【概要】

本セットアップでは、以下の項目について説明致します。

- ・ 棚卸用ライブラリのインストール
- ・ 通信用クレードルドライバのインストール
- ・ TALOS-NEX 通信設定
- ・ HT 初期設定
- ・ 棚卸用ライブラリデータの送信

通信用クレードルは、接続の指示が表示されましたら、POS 端末用の PC へ接続をしてください。

【HT 用プログラムのダウンロード】

[タロスオンラインマニュアル](https://aspsv1.talos-net.com/webposserviceCss/talos_nexmanual/index/talosindex/indextop.html)からダウンロードが可能です。

https://aspsv1.talos-net.com/webposserviceCss/talos_nexmanual/index/talosindex/indextop.html

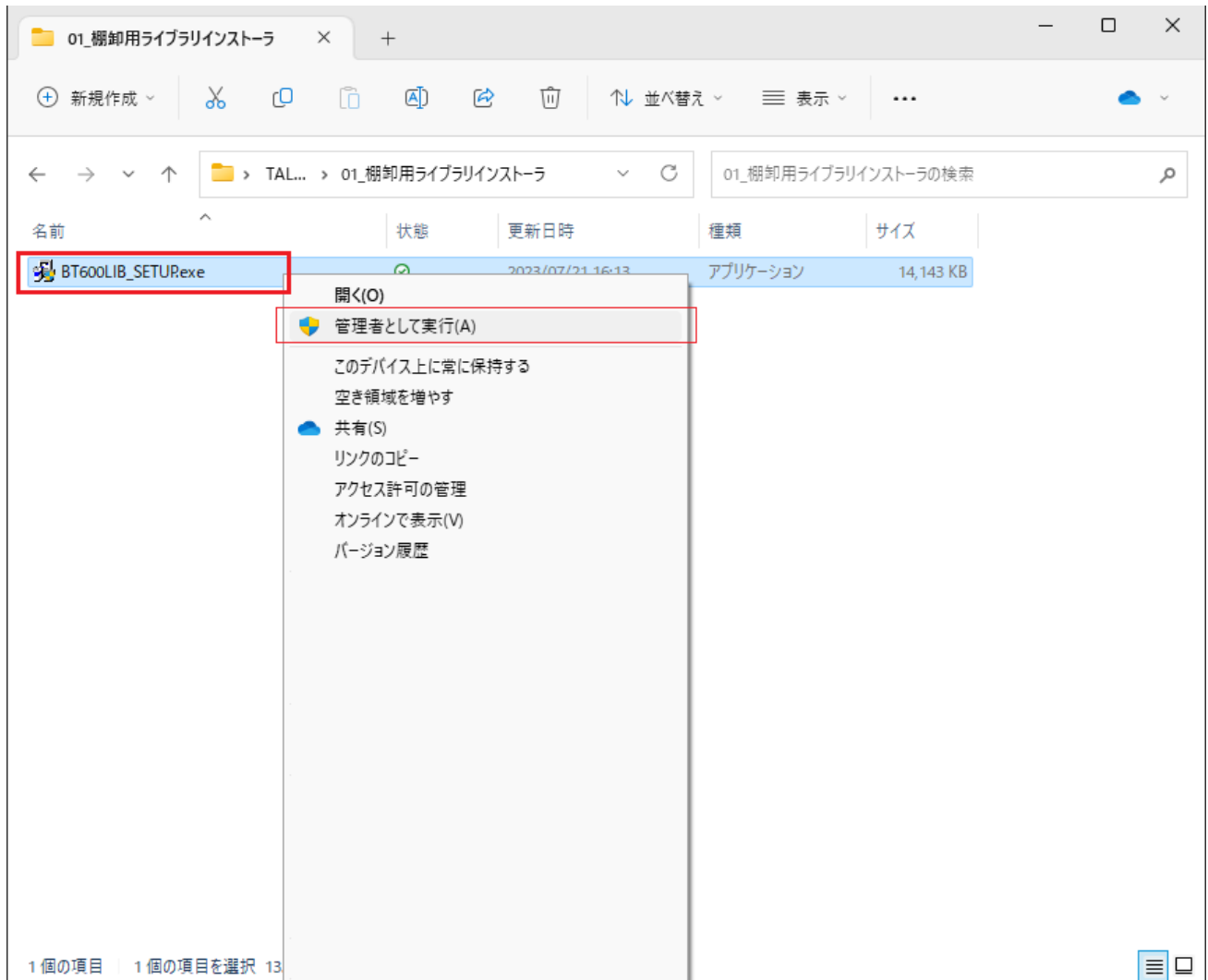
【手順】

(1) 棚卸用ライブラリのインストール

「01_棚卸用ライブラリインストーラ」 > 「BT600LIB_SETUP.exe」

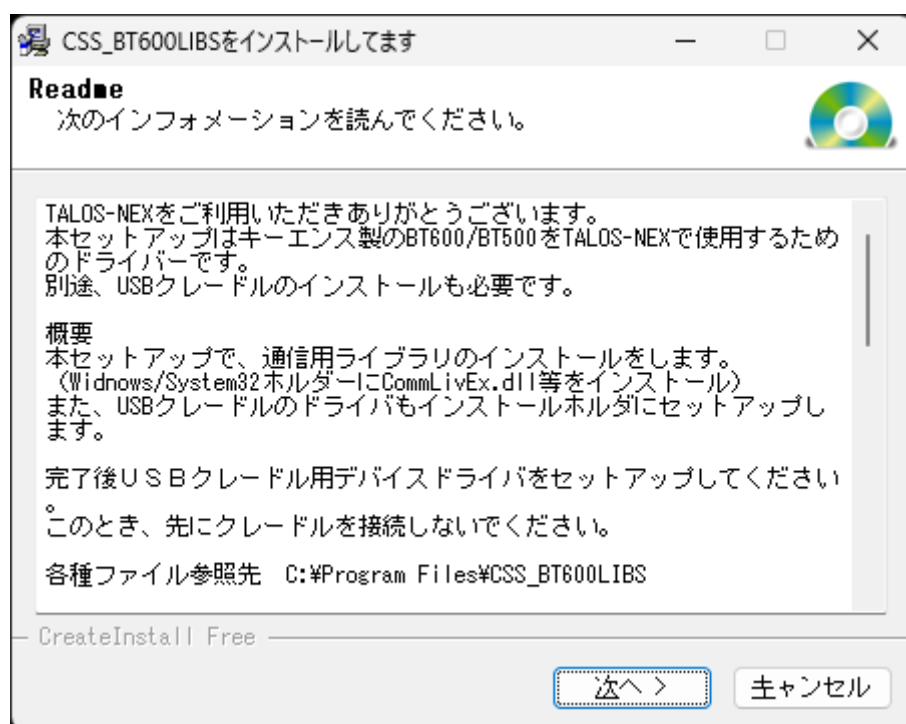
右クリックして「管理者で実行」を選択します。

※このプログラムは、BT-500,BT-600 の両方に対応しています。

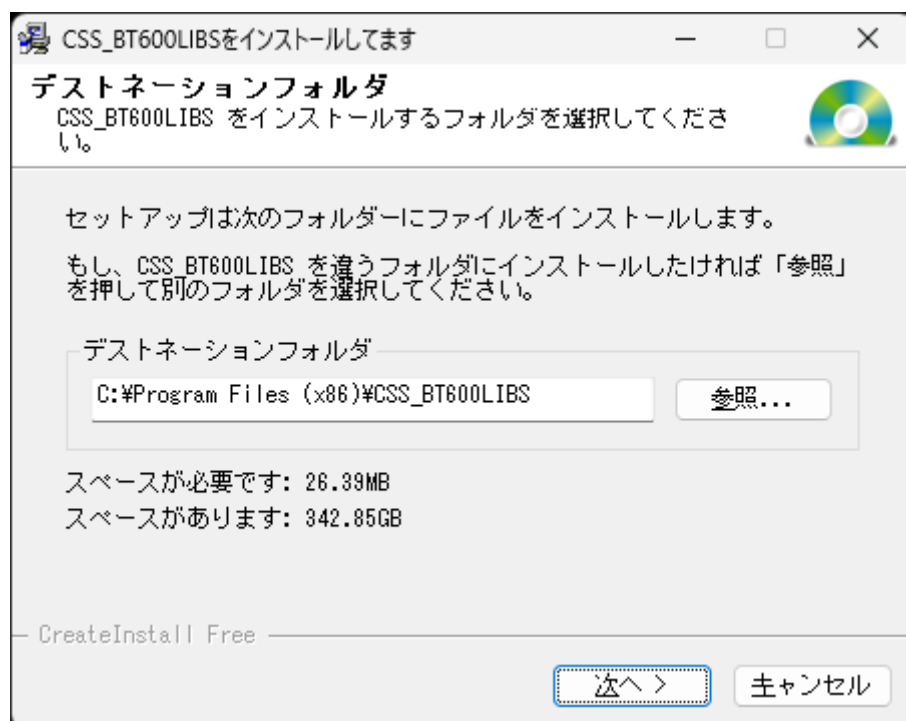


棚卸用ライブラリインストーラ「BT600LIB_SETUP.exe」の実行

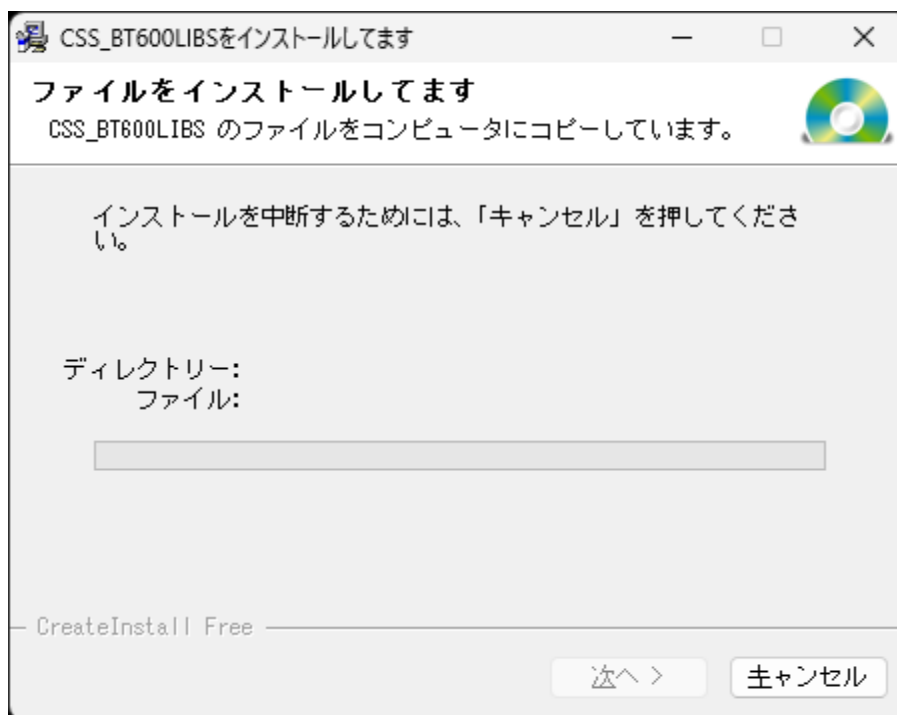
インストーラ実行時に、以下のウィンドウが表示されますので、特に変更はせず「次へ」を選択します。
“インストーラ実行画面 01”の画像の通り、通信用クレードルと PC の USB 接続は、まだ接続しません。



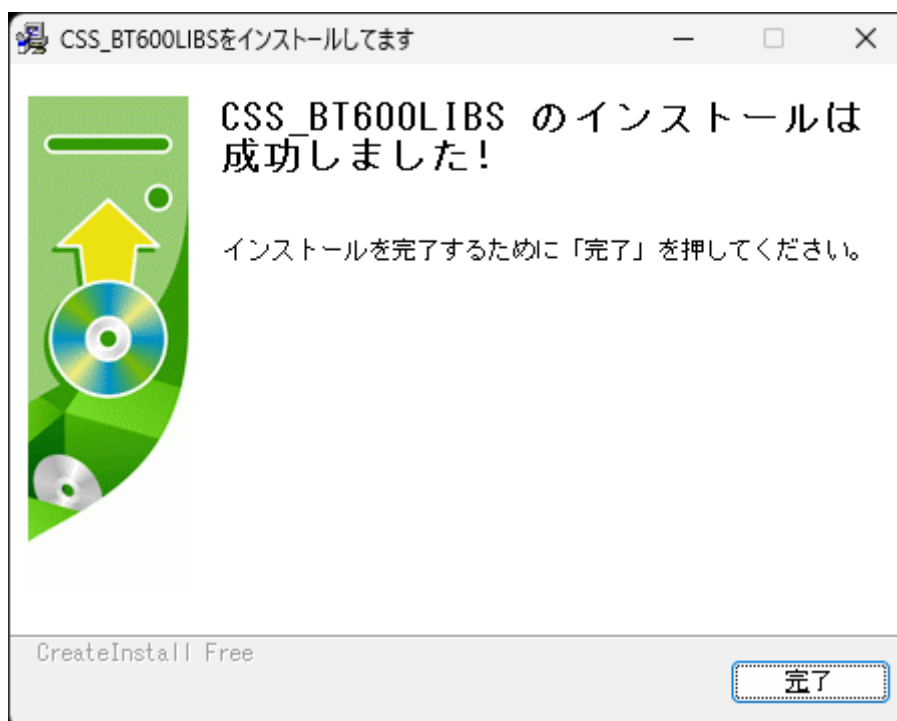
インストーラ実行画面 01



インストーラ実行画面 02



インストーラ実行画面 03



インストーラ実行画面 04

(2) 通信用クレードルドライバのセットアップ

「02 通信用クレードルドライバ」フォルダ内に配置した、それぞれの OS、機種に対応したプログラムを実行します。

・ Windows10 以前の OS の場合

[Windows 7,8,10]>[USB ドライバ(BT-UC6U)_142]

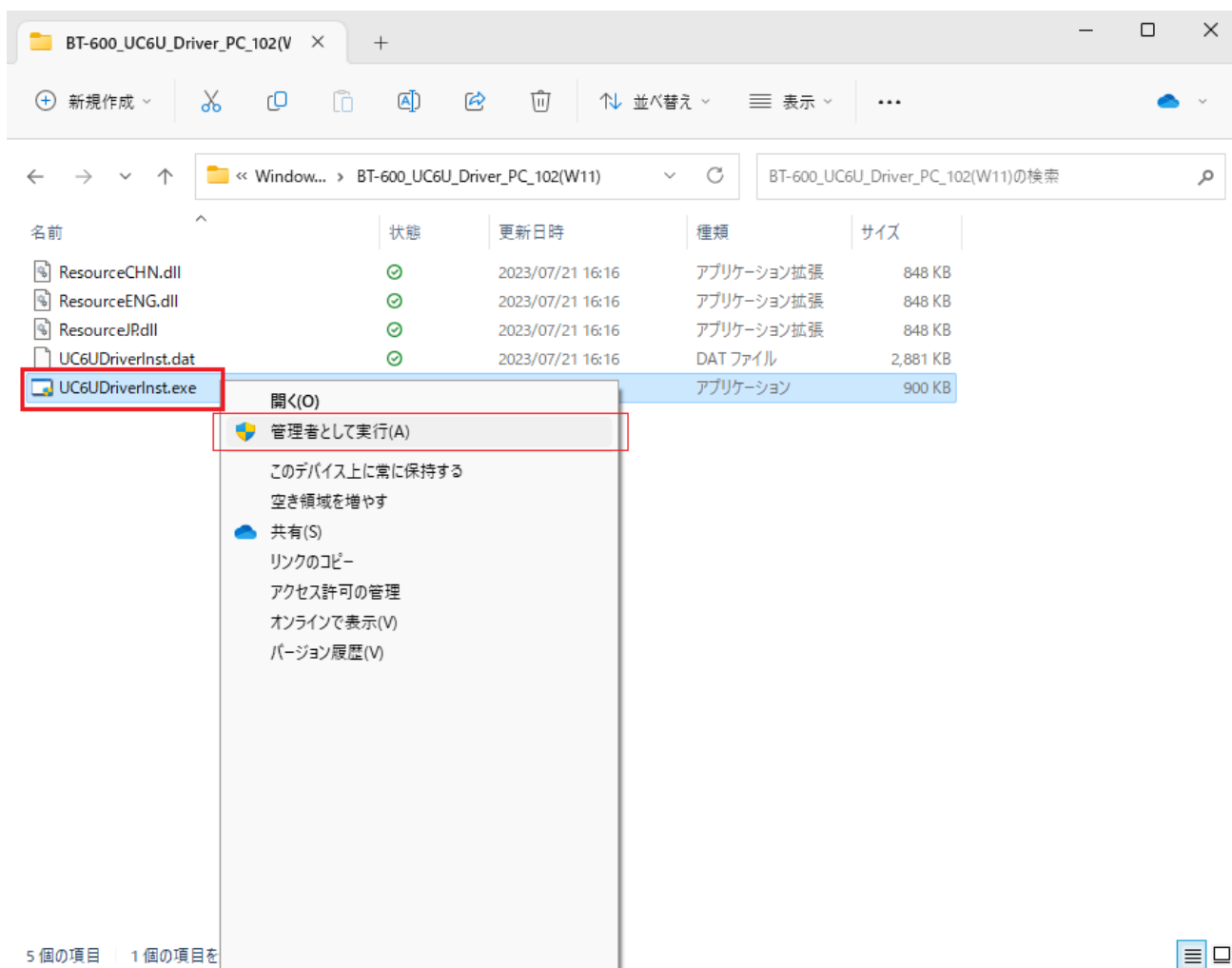
上記フォルダ内の「UC6UDriverInst.exe」を右クリックして「管理者で実行」を選択します。

・ Windows11 の場合

[Windows 11]>[BT-600_UC6U_Driver_PC_102(W11)]

上記フォルダ内の「UC6UDriverInst.exe」を右クリックして「管理者で実行」を選択します。

それぞれ実行中に接続の指示がありますので、PC へ USB 接続をします。

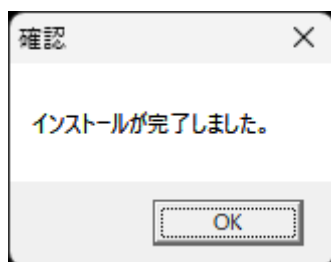


通信用クレードルドライバインストール(Windows11)

通信用クレードルドライバ実行すると、PC への接続指示がありますので、USB を接続します。



通信用クレードルドライバインストール画面 01

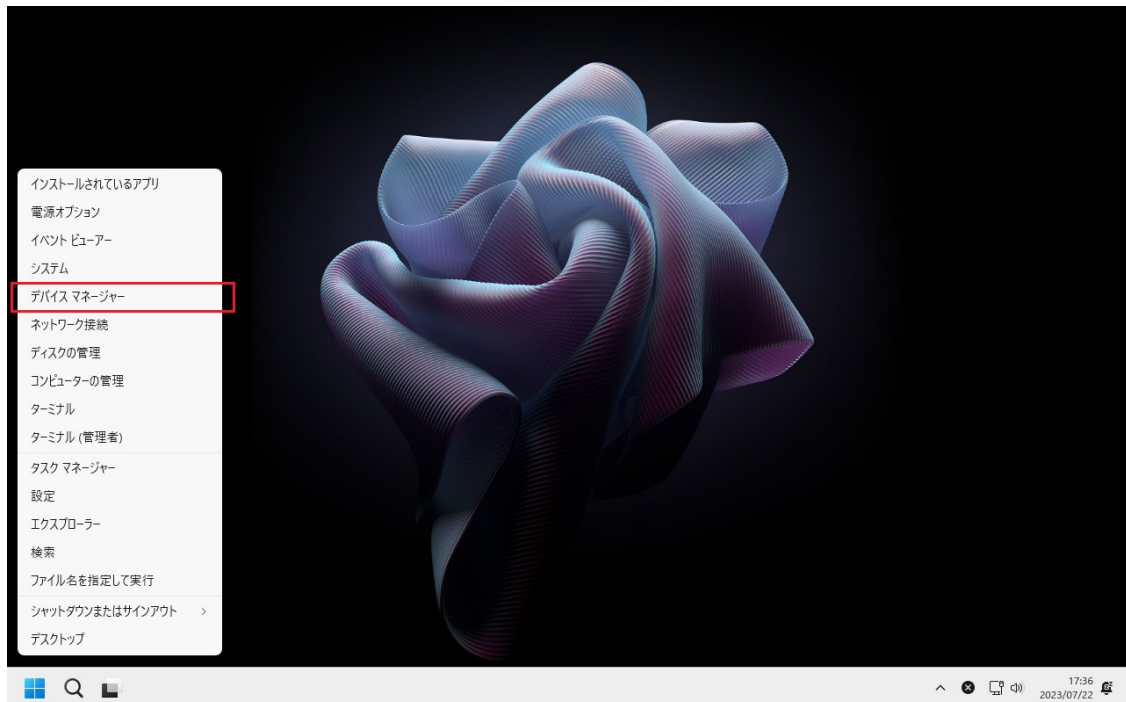


通信用クレードルドライバインストール画面 02

インストール完了後、デバイスマネージャーからクレードルの COM ポート番号を確認します。

・ Windows11 の場合

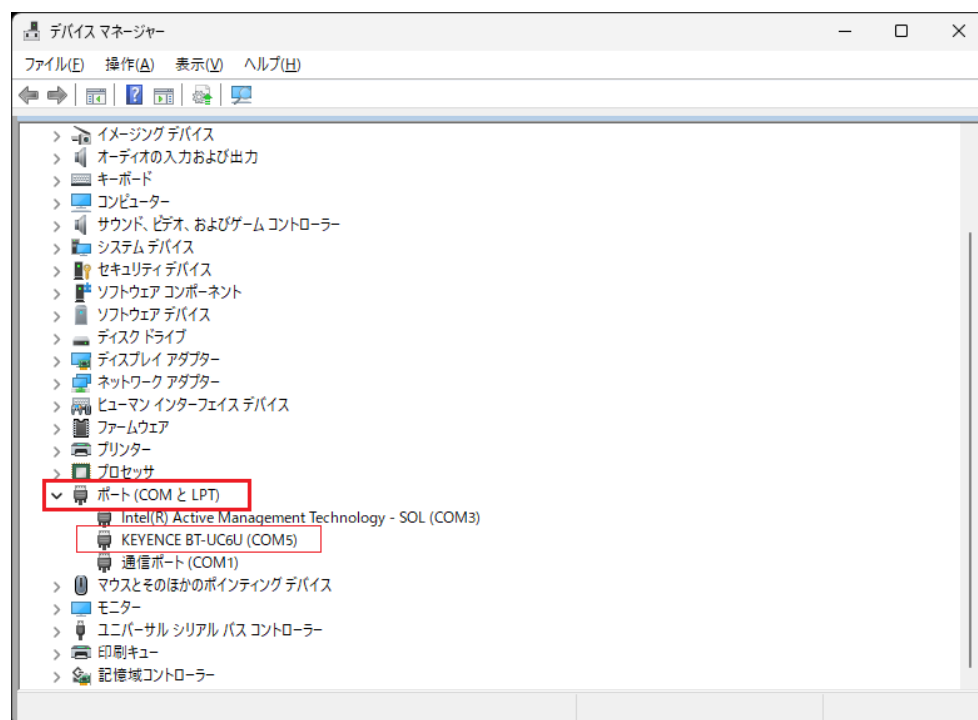
スタートのアイコンを右クリックして、[デバイスマネージャー]を選択します。



Windows11 デスクトップ画面

[ポート (COM と LTP)]の欄を展開して「KEYENCE BT-UC6U」のポート番号を確認します。

⇒以下画像だと、通信用クレードルは COM5 になりますので、NEX 側の設定もこちらに合わせます。



デバイスマネージャー画面